



ふーどりんく

～ 仕事を通して つなげる絆 ～

Vol. 24

平成24年度がスタートしました

平成24年度(第27期)が5月1日 始まりました。気持ちも新たに、ご利用者様全員に喜んでいただける「安全・安心・おいしい食事」の提供を継続して参ります。召し上がって下さる方が幸せな気持ちを感じていただいて、初めて当社の繁栄があります。

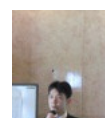
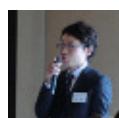
皆様、今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年度全体会議の第1回目が、5月16日(水)に開催されました。冒頭の社長挨拶では、今年度の方針が発表されました。着実な歩みと同時に社会の変動を見据えながら、更なる発展に向けて新たな挑戦をしていく。基本姿勢は「出足を早く、引き足を早く」－ 段取り八分と言われるように、事の始まる前の準備

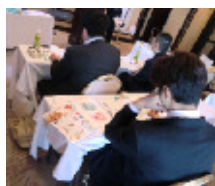
と取り掛かる仕事の成否を握っている。… 出席者一同、真剣に耳を傾けました。

10年超勤務者に対し、永年勤続表彰が行われました。サンパレス輝の高峯店長が代表して目録と御祝金を授与されました。

本部各部署より前年度報告後、衛生管理優秀給食室の表彰(2頁参照)が行われ、次に各店長より23年度の報告及び24年度の目標が発表されました。



午後からは、衛生講習。そして介護食のプレゼン等が行われました。



全体で集まり会社の方向性や目的を確認することは、とても大切です。インターネットやメールを利用する便利な時代だからこそ、人と人が会う重要さを再確認できる場です。

トピックス

永年勤続表彰者紹介

勤続10年以上にわたり各職場(部門)で頑張っておられた従業員の方を祝して、全体会議で永年勤続表彰が行われました。11名には御祝金が授与されました。

★永年勤続表彰者11名紹介(順不同、()内は勤務部門(給食室)および雇用形態)

加藤 崇 (セントラルキッチン、正社員)	富樫 順 (尾山愛広苑、正社員)
大島 美奈子 (はすがた園、パートタイマー)	熊谷 恵子 (遊生の森、正社員)
渡邊 妙子 (豊浦病院・愛広苑、パートタイマー)	長沢 悦子 (デイうすい、パートタイマー)
高橋 みゆき (いっぷく、パートタイマー)	木原 和枝 (JWSC、パートタイマー)
姉崎 幹男 (本部 商品開発室、正社員)	高嵯 慎也 (サンパレス輝、正社員)
近藤 正樹 (本部 営業推進・店舗事業部、正社員)	



★コメント 長沢 悦子

10年元気に働けたことは、「良い年のとり方」だったと思います。
それは、周りの皆さんに支えられてのものです。
これからも元気でがんばります。よろしくお願ひいたします。



トピックス

3年連続衛生管理優秀賞受賞部門紹介

当社は、県内に約60部門があります。その各部門が安全な衛生を維持できている理由は、基本ルールに則り外部専門機関の定期的検査及び毎月抜き打ちで自社の自主衛生検査を行うことで、店長を中心に全スタッフが^{のつと}高い意識で「安全・安心」な職場環境を毎日整えているからです。

全部門の中でも、3年連続で衛生の不合格を出さなかった給食室が3部門あり、全体会議で表彰されました。



- ★新井愛広苑 給食室 (妙高市、介護老人保健施設)
- ★ケアハウスせきかわ 給食室 (岩船郡、ケアハウス)
- ★新穂愛宕の園 給食室 (佐渡市、特別養護老人ホーム)



このような日々の努力が当社の信用です。安全を守るスタッフは宝です。もちろんその他の部門も日々努力して衛生管理を維持し続けています。

研修受講感想記



≪嚥下食実践セミナー≫

当社部門の中で、老人ホームを始めとした福祉施設の給食室では摂食・嚥下(※1)機能が低下されているご利用者様が入所し、食事の召し上がり方によっては誤嚥(※2)等の危険を伴うケースがあることから取引先企業ほか関係各位様が開催する実践セミナー・講習会等へ毎年多くの当社スタッフが受講し理解を深めています。

※1 摂食とは… 食事せつしょくを摂ること。嚥下とは… 飲み込むこと。えんげ

※2 誤嚥とは… 飲食物や唾液または異物が誤って気管に入ってしまうこと。あるいは間違っごえんて飲んでしまうこと。



今回は受講者の中から、新潟リハビリテーション病院給食室勤務の野崎さん取材しました。野崎さんは新卒入社以来10年超の勤務期間の中で、これまでに特養(特別養護老人ホーム)給食室の店長を担い、当給食室でも今年4月末まで店長勤務後、現在は若手店長育成及びスタッフの支え役として日々がんばっています。



編集部/嚥下食実践セミナーを受講して、いかがですか。

野崎/摂食・嚥下機能が低下したご利用者様に対して、いかに美味しく食べやすい食事を提供するかはとても大切です。刻み食、極刻み食、ミキサー食など、その方の症状に合わせた食事が用意されます。でも例えばミキサー食の場合ですが、食材の形が崩れて色も混ざりあってしまい味も均一化してしまうため、身体機能の低下と共に“食べる楽しみが軽減する”という気持ちの低下も現われたりします。

編集部/食べる楽しみは大事ですが、危険もあるでしょうね。

野崎/はい。中でも誤嚥はむせる症状と、むせない無自覚な症状があるのですが、毎年死亡率は増加し、その約85%が75歳以上の方です。そこで研究・開発が進み、現在では様々な食材が利用されています。



編集部/具体的には、どのように利用されているのでしょうか。

野崎/そのセミナーでは、ある特養で実施した話に感銘を受けました。「摂食・嚥下機能障害のご利用者様に普通食と変わらない食事を提供したい」と思い、「なめらか食」を導入したそうです。マニュアル作成で標準化し、よりリアルな仕上がりになるよう何度も試作して提供したところ…ご利用者のご家族からは「食事らしくなった」と評判も良く、喫食率は導入前よりも30%もアップしたそうです。



編集部/30%アップとは、すごいですね。

野崎/実際私も試食してみました。思ったより実物(一般食)の味に近く、食べる意欲が湧くものでした。食感も滑らかで口溶けも良く、誤嚥の心配が軽減された感想発表がありましたが、よく理解できました。また60℃まで加熱しても形状を保ったままで温かい食事提供ができるので、とても良いと思いました。

編集部/なめらか食は、極刻み食やミキサー食と形態は違うのですか？

野崎/施設の方針やご利用者様の状態によっては、違う扱いになります。ミキサー食はもちろんのこと、現在様々な施設で導入しているゼリー食やソフト食よりも一瞬間かかっており、調理された食材と同じ切り方にしたり、焼き目をつけたりして見た目を本物に近づけ、味も毎食変化させることが可能です。それによって食欲が出てくるご利用者様がいらっしゃることは嬉しいことです。やはり喜んで頂く食事というのは、人が手をかけて真心を込めた分だけ美味しくなるものではないでしょうか。少しでもご利用者様に喜んで頂ける調理を心がけたいと思いました。

編集部/今日は、どうもありがとうございました。



トピックス

巻愛宕の園給食室 オープンしました

新潟市西蒲区(旧・巻町)にある、巻愛宕の園給食室です。今年5月1日にオープンしました。宮川店長にお話をうかがいます。

こちらの給食室は、3名のスタッフが協力し合って毎日3食の食事を提供しています。

私はそれまで、中之口愛宕の園のスタッフの一員として勤務していました。

この度、初めて店長を担うことになりました。最初は少し不安な気持ちもありましたが、スタッフの樋浦さんと五十嵐さんは仕事内容をすぐ理解してくれて、きびきびとスムーズに動いて下さり不安はなくなりました。

チームワークの良さが、私たちの元気の源です。



宮川店長
(全体会議にて)



これからはご利用者様に喜んで頂ける食事を提供出来るよう、施設の方と気持ちを合わせてがんばっていきたいと思います。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

トピックス

環境セミナー

(写真及びイラストは全てイメージです)



今年5月に民間企業が主催した「環境セミナー」に参加しました。講演では、「国のエネルギー・環境戦略の現状と今夏の節電対策」、「自然環境の保全と省エネへの取り組み」、「新潟県における平成24年度の夏季節電について」でした。

講師は、民間企業の環境に関するコンサルタント及び環境推進本部長、新潟県産業労働観光部の方々です。

昨年3月11日の東日本大震災で起きた東京電力福島第一原子力発電所の壊滅的事故以後、原発への依存度を低減し「省エネ」だけではなく、「蓄エネ」「創エネ」(風力、太陽光、蓄電池、電源の分散化等)など新たな取り組みを行う提案が始まっています。



続いて、自然環境の保全と省エネへの取り組みを行っている企業の方からの発表がありました。自然を活かしたビオトープ化(野生生物や生物群が存在できる環境条件を備える地域)を推進することで、鳥や蝶、トンボ等が復活しています。



誌面の都合で詳細は書けませんが、原発事故以後は「電気を無駄に使わない」だけではなく「生み出す」、「効率よく分けあう」等の発想が活発になっています。それはエネルギーが減少して私たちの生活が脅かされているためであり、視点を変えれば「電気に頼り過ぎた快適生活への見直し」=「生活の基本に還る運動」のように感じました。つまり無理をせず、今あるだけのエネルギーで暮らすライフスタイルです。供給された分しか使えないのは当然のはずが、自然を破壊してまでも多くのエネルギーを無理に生み出し続けた私たち人間への「立ち止まって、よく考えなさい」という自然界からのメッセージのような思いがよぎりました。



トピックス

第85回全国安全週間実施

本日より「全国安全週間(7月1日～7日)」が始まりました。「ルールを守る安全職場みんなで目指すゼロ災害」をスローガンに実施されます。職場における労働災害防止活動の大切さを再認識し、積極的に安全活動に取り組みましょう。

厚生労働省から示された実施要綱では、「昭和3年に初めて実施されて以来、『人命尊重』という崇高な基本理念の下、『産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること』を目的に毎年実施」とされています。労働災害による死亡者数は減少してきているものの、平成23年は2,000人を超えており、震災を直接の原因とする死亡者を除いてもなお、1,000人を超える尊い命が労働の場で失われています。一方労働災害による死傷者数は、平成22年、23年と2年連続で増加しています。

労働災害防止のためには、安全衛生担当者を中心に全スタッフが機械設備の安全基準や作業手順の基本的ルールを徹底的に守ることが必要です。全国安全週間を契機に、それぞれの職場で労働災害防止の重要性について認識をさらに深め、安全活動の着実な実行を図って下さい。労働災害ゼロを目指しましょう。



トピックス

節電のお願い

7月

昨年の東京電力福島第一原発事故以後、政府及び新潟県から節電のお願いや「ピークカット15%大作戦」が実施され、全体に節電意識が高まってきているようです。

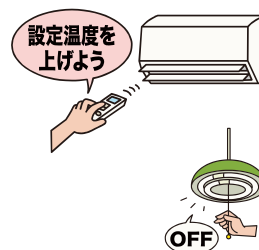
今年も夏がやってきました。東北電力管内の新潟県では、具体的な節電目標数値は発表されていません。しかし政府・内閣官房ホームページの電力使用状況を見ていますと、暑い日は使用量が85～90%を示しています。

(例:6月7日 10:00 東北電力管内 … (使用量 982 万 kw) ÷ (ピーク時供給力 1,104 万 kw) = 88.9%
体調維持が一番大切ですが、中でも行える“必要のない場所の消灯”等の節電をお願いいたします。

節電 OFF

Save Power

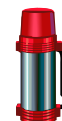
節電にご協力ください



昨年は多くの皆さんと節電協力をした結果、新潟県は計画停電をせずにすみました。今年の夏も、一人ひとりの小さな節電努力の積み重ねで、計画停電を回避しましょう。

ただし、昨年もお願いましたが

厨房は夏場、30℃以上(火気付近は40℃以上)にもなる場合があります。
熱中症にならないよう、必ずこまめに水分と塩分の補給を行ってください。



「いつかどこかで役に立つ！…はず」の第20回目



CK総務担当
大伍 宏昭

サブタイトル「かる〜くIT。の巻」

さあ7月。夏？夏直前？ 原稿作成時は6月ですが、まだジメジメした天気が続いているのでは？カラッと晴れてくれればいいのですが、湿度が高いと体調にも影響が大きい気がします。さて今回は覚えて便利に使えるパソコン教室です。

ミニ Excel 教室

曜日を入れた表、良く使いますよね？ 月が変わるたびに曜日を打ち変えてませんか？ 入門編として2つの方法を紹介します。

【日付関数を使ってみよう】(日付が文字列で入力されている場合は関数を使えません)

	A	B
1	2012/7/1	(日)
2	2012/7/2	(月)
3	2012/7/3	(火)



関数は「=TEXT()」を使用します。曜日を表示したいセルに以下のように入力します。その後は、「B1」を他のセルにコピーして使えます。

例)「B1」に「A1」の曜日「(*)」を表示させる。 → =TEXT(a1, "aaa") と入力
アンダーラインの部分を変えることで、曜日表示も変えることができます。

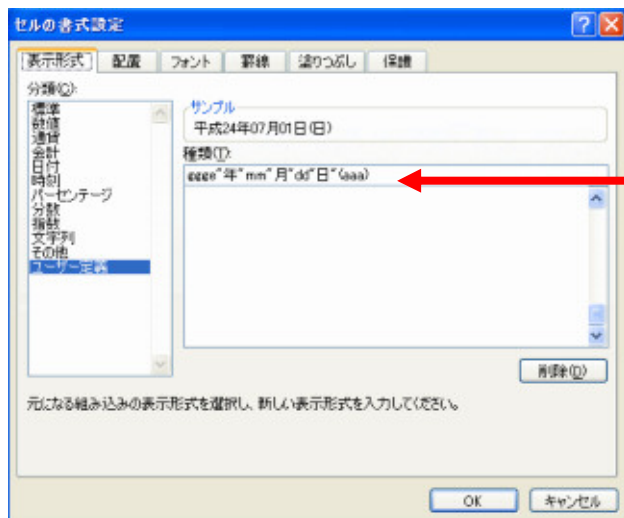
Sunday	=TEXT(A1, "dddd")
Sun	=TEXT(A1, "ddd")
日	=TEXT(A1, "aaa")
(日)	=TEXT(A1, "(aaa)")
日曜日	=TEXT(A1, "aaaa")



【セルの書式設定を使ってみよう】

	A
1	平成 24 年 07 月 01 日(日)

「A1」に「7/1」(文字列で入力されている場合は変換不可)と入力されている場合で説明。「セルの書式設定」ダイアログで下記の様に入力します。



「A1」の「セルの書式設定」

ggge"年"mm"月"dd"日"(aaa)
アンダーラインの部分は日付関数と同じように設定できます。

ちなみに年の表示は

- ggge 和暦表示 (平成 24)
- ge 和暦表示 (H24)
- e 和暦表示 (24)
- yyyy 西暦表示 (2012)
- yy 西暦表示 (12)

となります。

【おまけ】 日付表示の設定で「mm」や「dd」と入力しているのは、日付が一桁の場合と二桁の場合で表示がズレるのを避けるためです。平成 24 年 9 月 1 日 ← この様にならない様に頭に 0 を表示させています。
平成 24 年 10 月 21 日
それでは、また次回



“生涯スポーツ”を応援します

「ACTIVO アクティーボ」

「MT. 富士ヒルクライム」大会協賛



昨年発表されたレジャー白書2011年を見ると、バイク（自転車）やマラソンそしてハイキングは、幅広い年齢に人気のあるスポーツです。これらのスポーツを生涯にわたって楽しむためには、体のケアも重要となります。



スポーツを生涯の友とするアクティブなライフスタイルを目指す皆さんを、「健康ビジネス連峰政策」三つ星ビジネスモデルに選定された産学共同開発の『ACTIVO アクティーボ』持参で、6月2日（土）・3日（日）霊峰富士を駆け上る国内屈指のヒルクライム大会のブース応援に行ってきました。

6月2日の、ウエルカムパーティーブース（富士吉田市の富士北麓公園駐車場）より参加いたしました。会場は、レースを翌日に控えた出場者や家族の方々1万人でにぎわいました。ブースは自転車やメンテナンス用品の他、焼きそば、うどんといった食べ物販売のテントも並び、お子さんから熟年まで幅広い年代の方々がリラックスされていました。



当社は取引先の、株式会社ACTION SPORTSのブースで、『ACTIVO アクティーボ』のご案内！ 加齢と共に減ってゆく軟骨成分の補充だけではなく、筋肉を動かす際に欠かせないアミノ酸の『クレアチン』を配合して“座る・走る”を応援！…全面に掲げ、試飲を促し（糖龍角散の水なしで飲める顆粒技術をその場で試して頂き、飲みやすさをPRして参りました。

また特設ステージでは、バンド「シャ乱Q」のまことさんらによるトークショーや、ツール・ド・フランス出場経験のある日本の伝説的サイクリスト今中大介さんによる大会に向けたアドバイスもありました。

6月3日の大会は、前回大会の記録上位者100人を皮切りに11の部門ごとに同公園をスタート。富士山5合目までの約24キロ、標高差1,255メートルのコースでタイムを競うレースです。約6,000人のスポーツ愛好家が出走しました。



（株）ACTION SPORTSのスタッフ

★結婚おめでとう★

《相沢 美華子(黒埼病院) 5月13日挙式》

5月13日に結婚して、小林から相沢になりました。
これから色々な事があると思いますが、2人で力を合わせて乗り越えて
いきたいと思います。



★誕生おめでとう★

《近藤 佑介 (山王苑にいがた) 5月5日 相之介(あいのすけ)君 (第1子)誕生》

平成24年5月5日、午前7時52分。3,248g、51cm。
姓は近藤、名は相之介と申します。若輩なる父 佑介共々、
向後万端きょうこうばんたんよろしくお願いいたします。



【編集後記】

他社で勤務する若い知人から相談を受けました。「上司が短気で、怒り出すと止まらない。こんな人の下で働く気力をなくしたから退職したい。上司が怒らなければ気持ちよく働けるのに」という内容です。私は「相手を変えようとしても無理。ある刺激を受けると無自覚に怒り出す回路が出来ている人に『怒らないでほしい』と言っても、自覚がないのだからやめようがない。でももし『今の自分から少しでも成長したい』という気持ちがあるなら、もうちょっと頑張ってみない？ その上司をクリアできないうちに転職しても、また同じタイプの上司と出会うことになるかもしれないよ」と、若い頃の自分の体験を振り返りつつ伝えました。

さだまさし氏が「スポーツ競技や音楽コンクールの減点法が嫌い（現代社会は減点法が主流）」とエッセイで書いています。（以下、抜粋）「ミスを犯すと点数が下がる」ということになれば、必ず冒険を避けてこぢんまりするし、ひいては常に「点数」でしか人を判断できなくなる。（中略）「褒められる」ことより「ミスを犯さない」ことが最も大切になってしまふ。「ミス」にばかり眼が行くようになるとお互いの視線は意地悪になり、心は温度を失い、ますます人は人を褒めなくなり、褒められないから人は人に「感謝」しなくなり、と心は悪循環をきたす。

怒ることは一概に悪いとは言えないでしょう。人は仕事に慣れると“馴れからくる油断”として集中力がなくなり、単純ミスを起こしたりします。時にはガツンと怒られて、気を引き締め良い仕事ができるようになる場合があります。しかしここで大切なのは、**怒る側と怒られる側のギャップを無視してはいけない**ということ。生きてきた時代や社会、家庭環境が異なる人同士です。怒る側の気持ちがストレートに伝わることは稀でしょう。むしろ逆恨みされる場合もあります。そのため怒る側は、なぜ今怒ったのかを部下に分かるように説明しなければならぬと思います。でなければ大切な人材を失うか、今後一切その上司には心を閉ざしてしまうかもしれません。幸い当社には、感情のまま怒りっ放しにするような低レベルの上司は一人もいません。それこそが、私たちの幸福です。（本部 編集委員会/塚田）



広報誌ふんどりんく 【発行日】平成24年7月1日（奇数月発行）

- 発行元◆株式会社 日本フードリンク
- 所在地◆〒951-8061 新潟市中央区西堀通 3-791
- 編集◆本部 編集委員会
- 電話◆025(222)9799 ・FAX◆025(223)7122
- URL◆<http://www.j-foodrink.co.jp/>
- E-mail◆info@j-foodrink.co.jp

